

いつも身近な存在でありたいと思っています

# 会宝通信 ~KAIHO Communication~

第216号

発行日 2019年12月1日発行

## 11月18日 第7回 KRA勉強会

皆さまこんにちは、社長の近藤です。11月18日に「第7回KRA勉強会」を開催いたしました。今回は久しぶりの東京開催でした。

そして今までの基調講演では、異業種から学ぶ機会を優先してきましたが、今回の講師は7回目にして初めて自動車業界からのご登壇で、ご存じ「カーセブン」の井上社長にお引き受けいただきました。もちろん、熱い活気のある時間となりました。

今では全国に160店舗以上のFC展開をされていますが、過去には業界初のスマホ対応のシステムを開発するなど、常にエンドユーザー様の目線を大切にされています。また「業界が良くないと自社は良くならない」という信念のもと、業界を変える活動についてもお話しいただきました。KRAの理念に通じることも多く、大変勉強になりましたし、とにかくパイオニア精神に富んだ姿勢の影響で、会場が一気に活気のある空間となりました。

中古車販売業者とリサイクル業者の相乗効果についての話や、カーセブン様と共に取り組んでいる車両調達サービスの進捗についても共有致しました。



それ以外にも、船井総研様独自の統計をもとに、自動車業界の未来を予見し、そこから逆算して自動車リサイクル業として何をすべきかというメッセージをいただき、参加された皆さまは、明確な課題と宿題を持ち帰られたかと思います。

そして、参加者全員が楽しみにしている事例報告は、「新規バイヤー受入れ」と「KMEコンテナの初出荷」について2社から発表していただきました。また当社からもマスメディアでは入手できない、取引顧客から届いた南米の現状などをシェアさせていただきました。

メンバー企業の皆さまとは、回を追うごとに距離が近くなり、共に創造できる未来を実感しています。改めて素敵なご縁に感謝です。

# キラリと光る存在に

## 『マレーシア国使用済み自動車リサイクル研修』

皆さん、こんにちは。海外事業部の橋本です。12月に入って一気に寒くなってきました。10月17日から約2週間、研修生12名を迎え入れて、「マレーシア国使用済み自動車リサイクル研修」が弊社で行われました。本研修では、日本の自動車リサイクルに関する技術、法・規制のみならず、実際に豊島（香川県）を訪れることで日本の産業廃棄物の不法投棄の歴史に触れ、同じ過ちをマレーシアで繰り返さないようにと、日本の教訓を彼らに学んで頂いています。ガイドをしてくださった豊島住民会議の安岐さんの語る体験談は力強く、自分自身、リサイクル業者としての責任感を一層感じました。目に涙を浮かべる研修生の姿を見ると、自分と同じものを感じ取ってくれたのだと思います。JICA（国際協力機構）からの業務委託を受けて実施させて頂いた本研修は、2017年から3年に渡って行われ今年で最終年度となります。そのせいもあってか、研修のまとめの発表では、今後どのようにリサイクルシステムを自国で構築するかなど、白熱した議論が行われました。マレーシアだけでなく世界中に少しでも早く使用済み自動車が適切に分別処理されるシステム作りができるといいですね。自分自身もそのためのサポートができるようスキルアップに励みます！今後とも宜しくお願いいたします。



## 農業の取り組み ～農業事業部より～

皆様こんにちは。12月に入り一層朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。私たちのハウスでは10月下旬から廃油温風器を稼働させ、朝晩の気温が1桁にならないようにしています。周年栽培を目指し、取り組んでいくにはこの時期の加温は必要不可欠となります。また、トマトの植え替えもほぼ毎月ありますので、トマトを育苗するところにも加温設備を入れてあります。今後ますます冷え込みは厳しくなってきますので、しっかりと加温をし、12・1月でも確実に出荷できるようにしていきます。

さて、周年栽培に取り組んでいると、様々な段階のトマトが見られます。収穫中のもの、これから収穫に入っていくもの、花を咲かせたばかりのもの、そして芽が出て育苗中のもの、それぞれの生育段階で管理諸々は違いますが、その全てにおいて予定通りの収穫ができるように、そしてさらなる成果が上げられるように今後も取り組んでいきます。（担当：畠中）



☆トマトを食べてさらに健康に！！【会宝農園インターネットショッピングサイト】 <http://agribalance.jp/>



皆さまこんにちは。Kaiho Middle Eastの畳谷です。12月になりUAEの天候は最高気温が27度、最低気温は19度まで冷え込むようになり、そろそろ薄い上着が必要になりました。

11月のシャルジャマーケットを振り返ってみますと、触媒の取引価格が上昇傾向にあり、中古車のイストの人気の高まったことで10月よりもさらに活気づいてきました。

ところで、UAEでは12月2日から3日にエミラティ（※アラブ首長国連邦国籍の人）を対象に一年で一番盛り上がる『UAE建国記念日』があります。今年は建国48年目の記念日。あからさまな国際日であり、UAEの過去・現在・未来を称え、建国に携わった人々の努力を思い返すために1ヶ月前から国中の会社や家、ショッピングセンターなどが国旗を掲揚しています。当日ショッピングセンターはセールを行い、車や船、馬を率いたパレードや航空ショー、伝統や文化を紹介するイベントなど、様々な催しが各地で開催されます。日本企業の百円ショップ『ダイソー』は大きいショッピングセンターにテナントとして入っていたりしますが、そこでも建国記念日を祝うための様々なグッズを沢山目にします。ファッションまでも国旗色で彩り、UAEカラーの赤・緑・白・黒に染まった街となるそうですよ。UAEでは、様々な人種が集まるUAEならではの催し物がいろいろあります。今後もこのような様々な文化に触れ、さらに視野を広げていきたいと思っています！



## 今月のパチリ☆



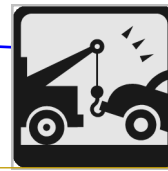
こんにちは。11月14日に地元小学校の5年生54名が、社会科授業の一環として会社見学に来てくれました。「これからの自動車づくりでは、どんなことが求められているか」と「自動車リサイクルの重要性」がテーマということで、弊社の業務内容やどうして自動車リサイクルが必要なのか、そしてSDGsについても説明しました。

小学生からは「一日に何台車を解体していますか？」とか「車にピンク色の字で部品の名前がたくさん書いてあるのは何ですか？」などたくさん質問をしてくれ、皆さん熱心にメモをとりながら話を聞いてくれたのが印象的でした。

今回、実際のリサイクル工場を見学して、肌で感じた感覚や得た知識を、今後に活かしてもらえれば嬉しいです。(担当：川村)



## 相場情報 ～生産部より～

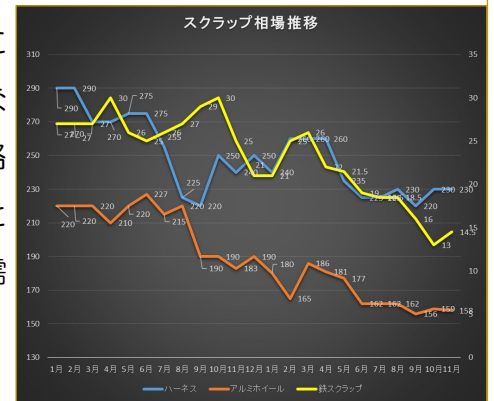


2019年11月 見込み台数

入庫台数 850台

処理台数 860台

こんにちは。会宝産業の山口です。金沢では「雪つり」の作業が各所で行われ、冬を感じさせられます。さて、相場はというと・・・鉄スクラップは、全国的に11月は1,000円～1,500円/トン程値上がりしました。これは輸出価格が上昇した事に引っ張られる形で、国内相場も上昇に転ずる動きを見せたのですが、実は国内では電炉鋼の需要が減少し生産も減産となっている為、堅調な推移を見せていく見込みとなっています。スクラップ相場のからくり？では無いですが、このような状況の場合、鉄スクラップを大量にストックしている人たちは、少し値上がり基調となると「まだ上がるかも？」となり、値上げを待って電炉向けのスクラップの出荷を一時的に止めてしまいます。そうすると今度は電炉側も現物の手当てが難しくなるので、更なる値上げを行わざるを得なくなります。これは簡単な価格上昇のスパイラルですが、需要が伴っていなければ値上げが一巡したところで、それで終わりになってしまいます。今回のケースでいうと、需要面では低調な状態が続いている為、過度な期待は禁物ですね。



## 今月のトピックス

### ～ こうりつ鑑定団 ～

11月に「こうりつ鑑定団」という初めての企画を開催しました。どこかで聞いたような・・・。ハイ、若干のパクリ企画でございます（笑） 企画の目的は、働き方改革が叫ばれる中「いかに業務効率をあげていくか」でした。そして1人1人が、より頭をフル回転できるように次のようなステップを踏みました。

#### ①時間短縮の提案を考える。（効率化）

業務効率を上げるための、業務の見直し、ルールの変更、人員配置などなど。複数の提案でもOKです。

#### ②時間短縮の活用提案を考える。（収益化）

短縮できた時間を活用して、収益に繋げる活動を提案します。

#### ③上記の考えた内容をまとめて、効果予測を金額換算して、提出する。

#### ④自分たちで考えた内容と、金額換算した根拠を発表する。発表当日には内容に応じて、表彰をする。

ざっとこのような感じです。

そして、その表彰はどれだけの成果（収益貢献）があったかという点と、プレゼン内容の2点で行いました。事前に役員で全21チームの評価を行いましたが、のべ5時間を要しました。真剣に考えられた内容を見て、発表者だけでなく評価者も共に成長できる企画となりました。（担当：佐藤）



会宝産業株式会社 国内業務部  
〒920-0209 金沢市東蚊爪町1丁目21-2

車両課（車両引取り・査定）

TEL 076-237-5347

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

部品課（部品注文/担当:大森・角島・古屋）

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp（担当:宮村）

